



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/28 （10/21との比較）	10/28 （10/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方角性 （※6）	方向性 （※7）		
日本 	A+	-0.04% （+0.01）		+0.8% 2016年2Q	-	日銀が長短金利操作策を導入した環境下、世界的に金利が上昇する中、国債利回りは小幅上昇。CPIは市場予想通りとなり、国債入札は波乱はなく無難な結果となった。	日銀総裁の発言などを勘案すると、日銀は金融政策決定会合で金融政策を据え置くことが予想される。国債利回りは日銀の長短金利操作策を導入した効果が引き続き持続するとみられ、レンジ推移を想定。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	1.85% （+0.11）	104.74円 （+0.91%）	+1.5% 2016年3Q	0.50%	GDP（国内総生産）が市場予想を上回るなど経済指標が概ね堅調となり、年内利上げ観測が強まる中、国債利回りは上昇。米ドルは大統領選の先行き不透明感から下落局面もあったが、週を通じては対円で上昇。	ISM製造業景況指数や雇用統計などの発表が予定されている。FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明内容や同国の大統領選、海外の政治経済の動向が注目される中、米ドルは対円でレンジ推移を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.17% （+0.16）	115.06円 （+1.87%）	+1.6% 2016年2Q	0.00%	英国のGDP（国内総生産）が市場予想を上回り、ECB（欧州中央銀行）総裁が講演でマイナス金利の過度な長期化を望んでいないとの立場を示す中、ドイツの国債利回りは上昇。ユーロは対円で上昇。	ユーロ圏のGDPやCPIなどが予定されている。内外の金融政策の動向が注目される中、スペインでは首相が信任され、政治空白期間が解消されるとみられる。引き続きイタリアや英国など各国の政治動向には注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/28 （10/21との比較）	10/28 （10/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.23% （+0.10）	78.18円 （+0.46%）	+0.9% 2016年2Q	0.50%	中銀はインフレ目標を更新し、現行の水準を今後5年間維持するとした。また、中銀総裁は議会で金融政策について慎重に判断していく考えを示した。国債利回りは上昇し、カナダドルは対円で上昇。	GDP（国内総生産）や国際商品貿易、雇用統計などの発表が予定され、引き続き景気回復度合いと金融政策の先行きを探る環境とみられる。米国の政治経済の動向や原油市況などをにらんだ一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利低下		 景気停滞	 利下げ局面		
オーストラリア 	AAA	2.38% （+0.09）	79.61円 （+0.82%）	+3.3% 2016年2Q	1.50%	CPIが市場予想を上回る内容となり、追加金融緩和観測が後退する中、国債利回りは上昇。豪ドルは対円で上昇。また、大手鉱山会社の鉄鉱石生産実績は拡大基調にあり、今後も増産が続くとの見方が有力となった。	貿易収支と小売売上高などの発表が予定される中、中銀は政策金利を据え置くことが予想される。海外の主要国の政治経済の動向をにらみながら、豪ドルはレンジ推移を予想。
	Aaa	 金利低下		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.72% （+0.13）	75.01円 （+0.91%）	+3.6% 2016年2Q	2.00%	貿易収支は輸出の増加が市場予想を下回る一方、輸入が大幅に増加し、赤字幅が拡大した。全体的に市場に影響を与える要因が少ない中、ニュージーランドドルは対円で上昇し、国債利回りは上昇。	企業景況感や住宅建設許可件数、および雇用統計などの発表が予定されている。特に雇用者増加のペースと賃金伸び率の動向が、今後の金融政策に影響を与えるとみられ注目される。
	Aaa	 金利低下		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.39% （+0.09）	12.68円 （+0.78%）	+2.5% 2016年2Q	0.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利を据え置くことを決定した。現況が9月に発表した金融政策報告での経済予測と大きく異なっていないことが背景と考えられる。ノルウェークローネは対円で上昇し、国債利回りは上昇。	先週発表された経済指標が強弱入り混じる内容となり、景気は緩やかに上向いているものの勢いに欠ける状況と考えられる。当面は金融政策の変更が見込まれない中、市場は原油価格の動向に左右されるとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/28 （10/21との比較）	10/28 （10/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気方向性 （※6）	方向性 （※7）		
ブラジル 	BB	11.43% （+0.16）	32.72円 （▲0.50%）	-3.8% 2016年2Q	14.00%	下院で歳出上限に関する憲法改正法案の2回目の採決を行い可決された。金融政策決定会合の議事録で、利下げのペースが緩やかなものになることが示唆され、国債利回りは上昇。レアルは対円で下落。	中銀が注視するインフレ率や同国政府の財政改革の進捗状況に変調がなければ、当面は緩やかなペースでの利下げが実施されるとみられ、債券・レアルともに底堅い推移が予想される。
	Ba2	金利横ばい	金利横ばい	景気回復	利下げ局面		
南アフリカ 	BBB+	8.29% （+0.02）	7.57円 （+1.95%）	+0.6% 2016年2Q	7.00%	財務省より発表された中期予算編成方針で、経済成長率の見通しが下方修正され、財政赤字も想定より拡大する見通しとなる中、財政見通しの悪化を受けて国債利回りは小幅上昇。ランドは対円で上昇。	貿易収支や製造業PMIなどの発表が予定される中、先週発表された財政緊縮策は与党内でも反発が強いとみられる。この政策を進める財務相に出頭命令が出るなど実施には障壁が残り、債券・ランドは上値の重い展開を予想。
	Baa2	金利横ばい	金利低下	景気鈍化	利上げ局面		
インドネシア 	BB+	6.97% （+0.02）	0.80円 （+0.75%）	+5.2% 2016年2Q	4.75%	主要な経済指標の発表がない中、米国や欧州などを中心とした先進国の金利上昇に追随し、国債利回りは小幅上昇。市場全般の円安傾向を受けて、ルピアは対円で上昇。	製造業PMIやインフレ統計などの発表が予定されている。日米の金融政策決定会合を控えて、リスク性資産のポジション調整などが見込まれ、債券・ルピアともに売り圧力が高まりやすい環境とみられる。
	Baa3	金利横ばい	金利横ばい	景気安定	利下げ局面		
インド 	BBB-	6.71% （▲0.02）	1.57円 （+1.10%）	+7.1% 2016年2Q	6.25%	主要な経済指標の発表がない中、GST（物品・サービス税）の審議を控え、政府系シンクタンクの副委員長が4区分の税率に賛成を表明した。国債利回りは小幅低下し、インドルピーは対円で上昇。	製造業PMIの発表やGSTの審議会の実施などが予定されている。今月、GST実施のための原案が検討される見通しで、合意が先延ばしになれば、先行き不透明感から債券・ルピーは上値の重い展開を予想。
	Baa3	金利低下	金利横ばい	景気回復	利下げ局面		

（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレボ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

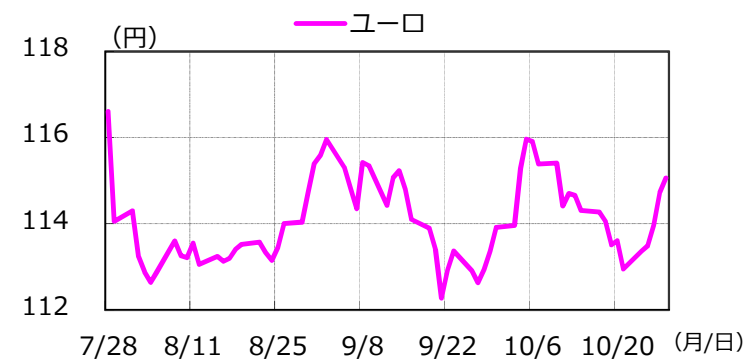
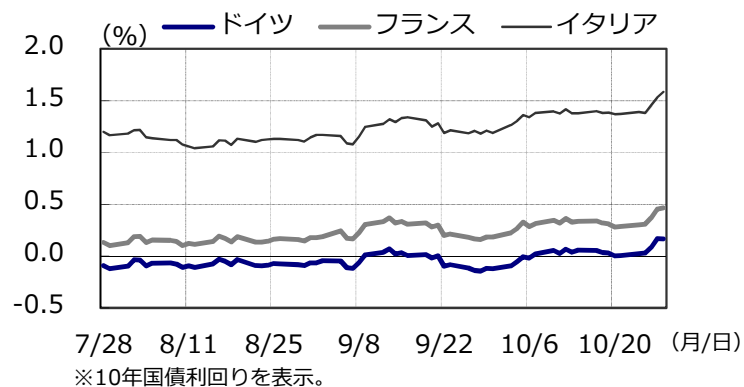
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/28 （10/21との比較）	10/28 （10/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気方向性 （※6）	方向性 （※7）		
メキシコ 	A	5.94% （ +0.16 ）	5.52円 （ ▲1.16% ）	+2.5% 2016年2Q	4.75%	貿易収支が市場予想を下回り赤字幅が拡大する中、米国でクリントン候補のメール問題についての捜査再開が発表された。米国の大統領選の先行き不透明感から、国債利回りは上昇。ペソは対円で下落。	GDP（国内総生産）などの発表が予定されている。米大統領選の投票日を控え、クリントン候補に対する捜査再開は波乱要因とみられる。引き続き、ペソへの関心も高まりやすく、値動きが激しい展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気回復	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	9.89% （ +0.34 ）	33.78円 （ +0.25% ）	+3.1% 2016年2Q	7.50%	中銀は四半期ごとのインフレ報告書を公表し、インフレ見通しを上方修正した。政局の不透明感や米国の利上げ観測を受けて、国債利回りは上昇。リラは市場全般の円安傾向を受けて、対円で上昇。	貿易収支やインフレ統計の発表が予定されている。大統領はEU（欧州連合）加盟を目指し廃止した死刑制度の復活に向けた国会審議を求める考えを明らかにした。債券・リラは同国内の地政学リスクに影響される展開を予想。
	Ba1	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
中国 	AA-	3.17% （ +0.02 ）	15.55円 （ +1.28% ）	+6.7% 2016年3Q	4.35%	工業利益は前年同月比の伸び率が鈍化した。第18期中央委員会第6回全体会議で、習近平国家主席を「核心」の指導者と位置づけた。市場全般の円安傾向を受けて、香港市場の人民元は対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	製造業PMIなどの発表が予定される。主要都市の住宅規制強化を受け、製造業PMIが景気の境目とされる50以上を維持できるかが注目される。日米の金融政策決定会合を控え、債券・人民元ともに売り圧力が高まるとみられる。
	Aa3	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		

（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/7/28～2016/10/28

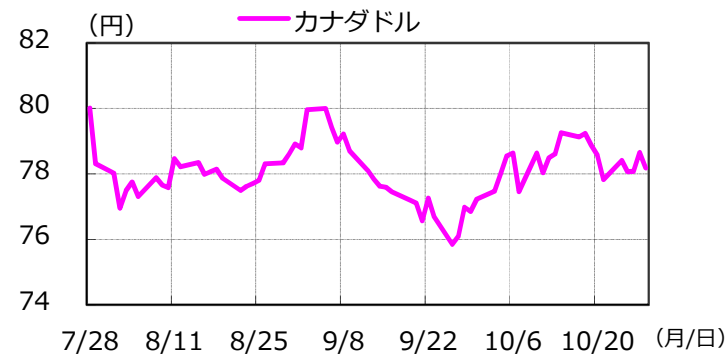


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

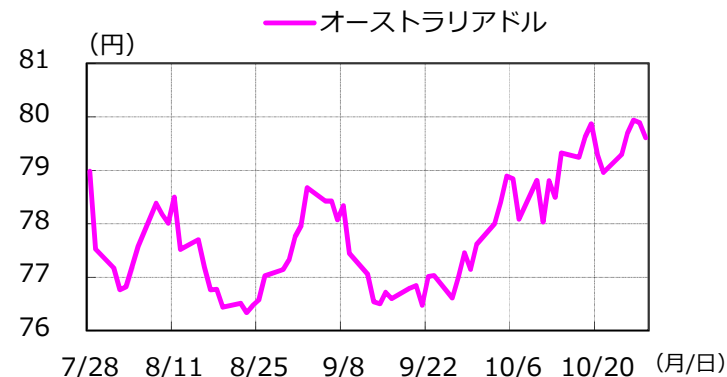
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/7/28～2016/10/28

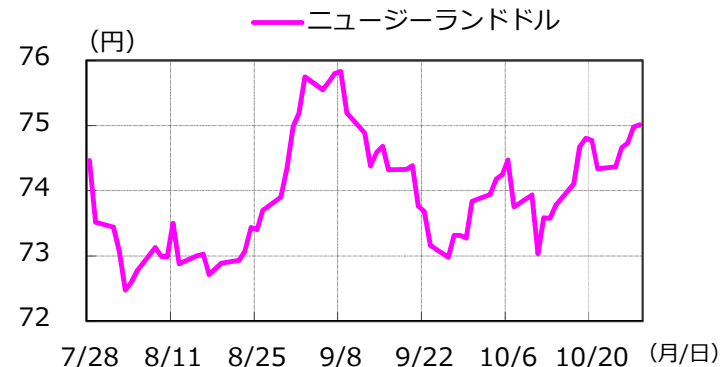
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

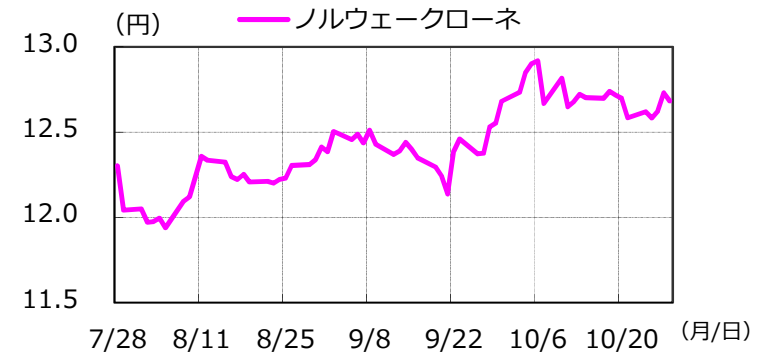


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/7/28～2016/10/28

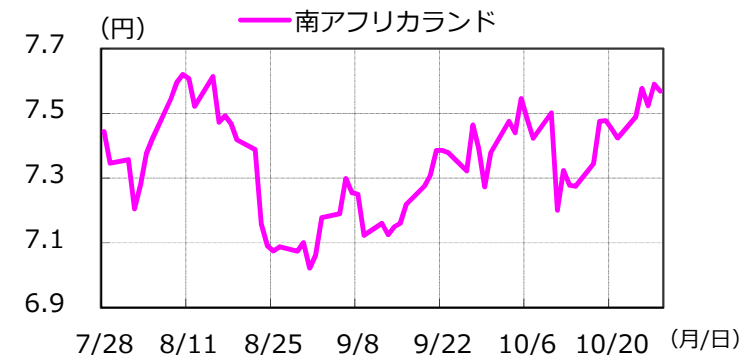
ノルウェー



ブラジル



南アフリカ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/7/28～2016/10/28

インドネシア



インド



メキシコ

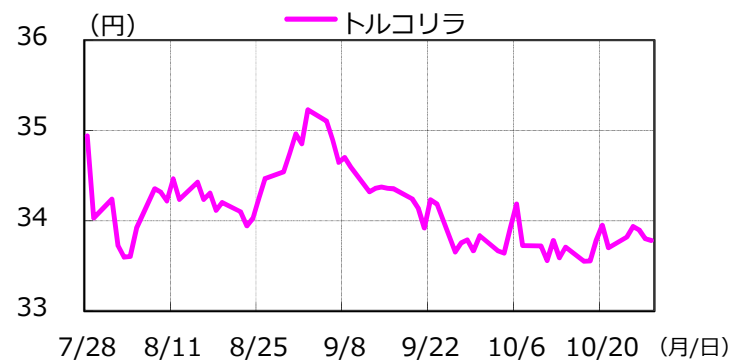


※インドネシアアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。 (出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/7/28～2016/10/28

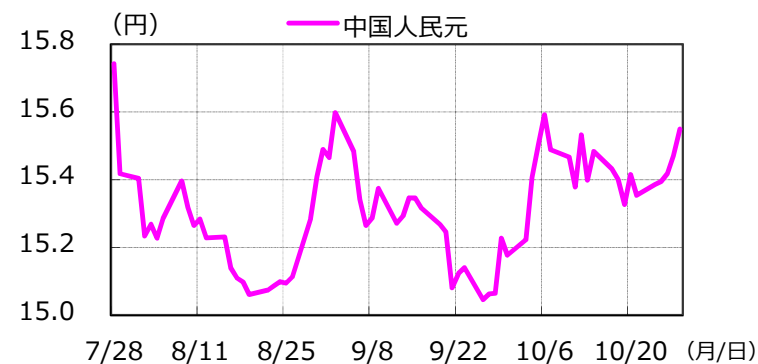
トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。



※香港市場における人民幣の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：Bloombergのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

● 投資信託に係る費用について

〔ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。〕

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料： 上限4.104%（税込）

信託財産留保額： 上限0.5%

公社債投信およびグリーン公社債投信の換金時手数料： 取得年月日により、1万口につき上限108円（税込）

その他の投資信託の換金時手数料： ありません

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）： 上限 年率2.6824%（税込）

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。